

29日山協発第128号

平成29年7月25日

都道府県山岳連盟(協会)会長 様
理 事 長 様
競技委員長 様

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
会長 八木原 圀明
常務理事・スポーツクライミング部
部長 村岡 正己
(公印省略)

平成29年度スポーツクライミング部ブロック別研修会の開催について

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、本協会の事業に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国体山岳競技も、本年10月で第72回大会を数えるまでになりました。本協会名称改称により、国体山岳競技名称も第74回国体より「スポーツクライミング競技」となることが決まっています。

つきましては本協会として例年開催しております表記ブロック別研修会について、国体の発展、充実のために、下記の通り開催いたしたく通知いたします。

貴岳連(協会)加盟団体様へ、国体山岳競技やクライミング競技会等の運営、審判員等に参画できる方を、ご推薦下さるようお願い申し上げます。なお、それぞれの研修会は概ね10名以上の参加者による開催の調整をお願いいたします。

昨年度から3年計画で全国9ブロックにおいて、登山部指導委員会の協力によるスポーツクライミング指導者を対象とした「指導者研修」も取り入れて開催しています。その場合、従来の「国体競技運営研修」は実施せず、「運営員研修」と「スポーツクライミングC級審判員認定研修」の実施となります。

また、「競技運営研修」を開催するブロックにおいても、参加者数によっては「競技運営員研修」を合同で開催する場合がありますので、その点ご了承ください。

(担当：スポーツクライミング部国体委員会 03-3381-2396)

平成 29 年度 日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会実施要項

1 趣旨

スポーツクライミング競技の円滑・公正な競技運営、普及を図るため、クライミング審判員（以下「審判員」）及び競技運営、指導者（以下「運営研修」）の養成、指導並びに、国民体育大会山岳競技運営員（以下「運営員」）の養成、研修等を目的に研修会を実施する。

なお、「運営研修」は昨年度より3年次計画（表参照）で「指導者研修」を目的に開催する。

本研修会受講者は、（公財）日本体育協会公認指導者義務研修の受講となる。さらに審判員研修受講者は、本協会クライミングC級審判員更新時の義務研修の受講となる。

年 度	運営研修「指導者育成」対象ブロック		
2016 年度	関 東	東 海	近 畿
2017 年度	北信越	中 国	九 州
2018 年度	北海道	東 北	四 国

（アンチ・ドーピング研修：一時間程度：今年度は・北海道・東北・四国ブロックで実施）

2 主催 （公社）日本山岳・スポーツクライミング協会

3 主管 各ブロック別研修会開催主管山岳連盟（協会）

4 カリキュラム（開催日数は主管岳連に委ねます）

(1) 日山協公認クライミングC級審判員認定研修 (10.5 時間)

内 容	単 位 (時間)
・オリエンテーション	0.5
・国際競技規則	9.0
・クライミング競技運営に必要な事項	
・筆記試験と回答説明	1.0

(2) - 1 運営研修（指導者研修） (4 時間)

内 容	単 位 (時間)
・オリエンテーション	0.5
・「フェアプレー」指導者として求められること	1.0
・「2020 東京五輪」に向けた取組み	1.0
・日山協、日体協、JOC 等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

今年度開催ブロックは、北信越（新潟県）、中国（山口県）、九州（鹿児島県）です。

(2) - 2 運営研修（競技運営、指導者研修） (4 時間)

内 容	単 位 (時間)
・オリエンテーション	0.5
・第 72 回愛媛国体報告	1.0
・山岳競技規則集の規程等確認	1.0
・日山協、日体協、JOC 等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

(3) 国体運営員研修 (3時間)

内 容	単 位 (時間)
・オリエンテーション	0.5
・第72回愛媛国体報告	1.0
・山岳競技規則集の規程等確認	
・日山協、日体協、JOC等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

5 講師 日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング部常任委員
アンチ・ドーピング委員会常任委員

6 参加資格

(1) クライミングC級審判員認定研修

- ① クライミング競技会の運営に参加経験のある者
- ② 選手経験のある者で、所属山岳連盟会長から推薦された者

(2) 運営研修

- ① 日体協公認指導者
- ② スポーツクライミング競技指導者で、所属山岳連盟会長から推薦された者

(3) 国体運営員研修

- ① 所属山岳連盟会長から推薦された者
- ② スポーツクライミング競技運営に興味がある者

7 受講料

一人 3000円 (別途、資料「国体山岳競技規則集」代金1000円＋消費税が必要)

8 申込方法

- (1) 参加申込に際しては、平成29年度 スポーツクライミング部ブロック別研修会参加申込書(別紙1)によりブロック別研修会開催主管岳連に提出し、別紙1に基づき主管岳連は参加者名簿を整理し、日山協へ提出する。なお不備な場合は、義務研修受講が認められない場合があるので注意すること。

9 その他

- (1) 参加者数により、場合によっては「運営研修(競技運営、指導者研修)」と「国体運営員研修」を合同で開催する場合もあるため、研修会開催の概ね一か月前には開催有無をご連絡ください。
- (2) 国体開催岳連(協会)が主管として開催する「特別研修会」は、別途協議する。

平成 29 年度日山協スポーツライミング部ブロック別研修会開催事前日程表

	11 月		12 月		2018 年 1 月		2 月		3 月	
	曜日	希望日	曜日	希望日	曜日	希望日	曜日	希望日	曜日	希望日
1 日	水	—	金	—	月	—	木	—	木	—
2 日	木	—	土	中国・四国	火	—	金	—	金	—
3 日	金	—	日	中国・四国	水	—	土	—	土	—
4 日	土	—	月	—	木	—	日	—	日	—
5 日	日	—	火	—	金	—	月	—	月	—
6 日	月	—	水	—	土	—	火	—	火	—
7 日	火	—	木	—	日	—	水	—	水	—
8 日	水	—	金	—	月	—	木	—	木	—
9 日	木	—	土	北信越	火		金	—	金	—
10 日	金	—	日	北信越	水		土	—	土	九州
11 日	土	—	月	—	木	—	日	—	日	九州
12 日	日	—	火	—	金	—	月	—	月	—
13 日	月	—	水	—	土	東海	火	—	火	—
14 日	火	—	木	—	日	東海	水	—	水	—
15 日	水	—	金	—	月	—	木	—	木	—
16 日	木	—	土	—	火	—	金	—	金	—
17 日	金	—	日	—	水	—	土	—	土	—
18 日	土	—	月	—	木	—	日	—	日	—
19 日	日	—	火	—	金	—	月	—	月	—
20 日	月	—	水	—	土	関東・近畿	火	—	火	—
21 日	火	—	木	—	日	関東・近畿	水	—	水	—
22 日	水	—	金	—	月	—	木	—	木	—
23 日	木	—	土	—	火	—	金	—	金	—
24 日	金	—	日	—	水	—	土	北海道	土	—
25 日	土	東北	月	—	木	—	日	北海道	日	—
26 日	日	東北	火	—	金	—	月	—	月	—
27 日	月	—	水	—	土	—	火	—	火	—
28 日	火	—	木	—	日	—	水	—	水	—
29 日	水	—	金	—	月	—			木	—
30 日	木	—	土	—	火	—			金	—
31 日			日	—	水	—			金	—

平成 29 年度 日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会
(〇〇ブロック) 実施要領

1 趣旨

スポーツクライミング競技の円滑・公正な競技運営、普及を図るため、クライミング審判員（以下「審判員」）及び競技運営、指導者（以下「運営研修」）の養成、指導並びに、国民体育大会山岳競技競技運営員（以下「運営員」）の養成、研修等を目的に研修会を実施する。

なお、「運営研修」は昨年度より3年次計画（表参照）で「指導者研修」を目的に開催する。

本研修会受講者は、（公財）日本体育協会公認指導者義務研修の受講となる。さらに審判員研修受講者は、本協会クライミングC級審判員更新時の義務研修の受講となる。

年 度	運営研修「指導者育成」対象ブロック		
2016 年度	関 東	東 海	近 畿
2017 年度	北信越	中 国	九 州
2018 年度	北海道	東 北	四 国

(アンチ・ドーピング研修：一時間程度：今年度は・北海道・東北・四国ブロックで実施)

2 主催 (公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会

3 主管 各ブロック別研修会開催主管山岳連盟 (協会)

4 日程

(1) 日山協公認クライミングC級審判員認定研修 (1泊2日)

受付：平成 29 年〇月〇日(土)13:00～13:30

研修：平成 29 年〇月〇日(土)14:00～〇月〇日(日)17:00

(2) - 1 運営研修 (指導者育成研修) または (2) - 2 運営研修 (競技運営、指導者研修)

受付：平成 29 年〇月〇日(日)8:30～9:00

研修：平成 29 年〇月〇日(日)9:00～13:00

(3) 国体運営員研修 (国体運営役員、国体競技に興味がある者対象)

受付：平成 29 年〇月〇日(日)8:30～9:00

研修：平成 29 年〇月〇日(日)9:00～12:00

5 場所 「〇〇〇〇〇〇〇〇」 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇〇〇

TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

6 宿泊 上記開催場所で宿泊

7 講師 日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング部常任委員
アンチ・ドーピング委員会常任委員

8 参加資格

(1) クライミングC級審判員認定研修

① クライミング競技会の運営に参加経験のある者

② 選手経験のある者で、所属山岳連盟会長から推薦された者

(2) 運営研修

① 日体協公認指導者

- ② スポーツクライミング競技指導者で、所属山岳連盟会長から推薦された者
- (3) 国体運営員研修
 - ① 所属山岳連盟会長から推薦された者
 - ② スポーツクライミング競技運営に興味がある者

9 カリキュラム（開催日数は主管岳連に委ねます）

(1) 日山協公認クライミングC級審判員認定研修（10.5時間）

内 容	単 位（時間）
・オリエンテーション	0.5
・国際競技規則	9.0
・クライミング競技運営に必要な事項	
・筆記試験と回答説明	1.0

(2) - 1 運営研修（指導者研修）（4時間）

内 容	単 位（時間）
・オリエンテーション	0.5
・「フェアプレー」指導者として求められること	1.0
・「2020 東京五輪」に向けた取組み	1.0
・日山協、日体協、JOC 等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

今年度開催ブロックは、北信越（新潟県）、中国（山口県）、九州（鹿児島県）です。

(2) - 2 運営研修（競技運営、指導者研修）（4時間）

内 容	単 位（時間）
・オリエンテーション	0.5
・第72回愛媛国体報告	1.0
・山岳競技規則集の規程等確認	1.0
・日山協、日体協、JOC 等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

(3) 国体運営員研修（3時間）

内 容	単 位（時間）
・オリエンテーション	0.5
・第72回愛媛国体報告	1.0
・山岳競技規則集の規程等確認	
・日山協、日体協、JOC 等関連情報	1.0
・討議とまとめ	0.5

10 講師 日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング部常任委員

11 参加資格

- (3) クライミングC級審判員認定研修
 - ① クライミング競技会の運営に参加経験のある者
 - ② 選手経験のある者で、所属山岳連盟会長から推薦された者
- (4) 運営研修
 - ① 日体協公認指導者
 - ② スポーツクライミング競技指導者で、所属山岳連盟会長から推薦された者
- (3) 競技運営員研修
 - ① 所属山岳連盟会長から推薦された者
 - ② スポーツクライミング競技運営に興味がある者

1 2 受講料

一人 3000 円（別途、資料「国体山岳競技規則集」代金 1000 円＋消費税が必要）

1 3 申込先・問合せ先

別紙申込書に必要事項を記入の上、平成 29 年〇月〇日（〇）までに下記へ郵送・FAX あるいはメールでお送りください。

〇〇県山岳連盟 〇〇 〇〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇〇〇

TEL : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

E-mail : 〇〇〇〇@〇〇〇〇

平成29年度 スポーツクライミング部ブロック別研修会参加申込書

氏名（フリガナ）	所属岳連名：（ ）（都・道・府・県）山岳連盟（協会） 所属山岳会名：（ ）
生年月日：（昭和・平成） 年 月 日	日本体育協会公認指導員資格番号（ ） JMSCA公認審判員資格番号 （ ）
郵便番号： — 住所：	電話番号（FAX）： E-Mail：
参加区分（○で囲む）： (1) 競技運営研修 (2) 国体運営員研修 (3) 日山協公認クライミングC級審判員認定研修	
岳連（協会）内の役職名：	
国体（本国体、ブロック大会）、クライミング競技会参加歴（選手、監督、審判員、役員等） ・選手： ・監督： ・審判員/役員：	
上記の者が参加することを推薦します <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">_____（都・道・府・県）山岳連盟（協会）会長 _____ 印</p>	